

vol.149

2019.2

営繕とうほく

EIZEN TOHOKU

発行
東北地方整備局
営繕部
盛岡営繕事務所



【山形森林管理署最上支署】

CONTENTS

- 完成施設紹介【山形森林管理署最上支署】・・・・・・・・・・ 2～3
- 平成30年度「営繕行政セミナー」を開催しました
～建築分野における生産性向上に資する「ICT活用」基礎講座～・・・・・・・・ 4
- 【山形県】インフラ長寿命化の取り組み
～山形県における県有施設の長寿命化に関する取組と営繕室の役割～・・・・ 5～6
- 新庁舎を創った「けんせつ小町たちの座談会」
～働きやすい職場環境を考える～・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～8
- 保全ニュースとうほく
平成30年度 保全実態調査の結果（東北版）について・・・・・・・・ 9～11
- 「巡回建築パネル展」及び「施設見学会」
～公共建築月間イベント開催～・・・・・・・・・・・・・・・・ 12～13

平成30年度「営繕行政セミナー」を実施しました

～ 建築分野における生産性向上に資する「ICT活用」基礎講座 ～

東北地方整備局営繕部では、平成30年10月31日(水)～11月2日(金)の3日間、多賀城研修所において「建築分野における生産性向上に資する「ICT活用」基礎講座」をテーマとした研修「営繕行政セミナー」を開催し、29名の聴講生が参加しました。

本研修には、整備局職員のほか東北各県の地方公共団体の方々にも参加いただいております。今回は、21団体から23名の参加がありました。

今回の研修テーマは、東北各県及び仙台市の営繕担当の方々のご意見を基に、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の趣旨を踏まえた公共建築工事の良質な品質確保と、建設業界における「働き方改革」に係る生産性向上を目指す更なる取り組みについて、一助となるものとして「建築工事のICT技術の基礎講座」を選定しました。

地方公共団体からの参加者

県名	参加者所属団体
青森県	青森県
岩手県	岩手県、盛岡市
宮城県	宮城県、仙台市、石巻市、女川町、加美町
秋田県	秋田県、横手市、男鹿市
山形県	山形県、米沢市
福島県	福島県、福島市、いわき市、相馬市

平成30年度営繕行政セミナー日程

1日目	講話
	建設業におけるICTの活用(総論)
	官庁営繕事業におけるICT・BIMの活用
2日目	建築分野におけるICT・省人化工法による生産性向上について
	建築工事におけるICT・BIM活用について
	施設見学(女川町庁舎)
	ICT建機説明会・デモンストレーション見学(コマツIOTセンタ)
3日目	設計段階におけるBIM活用事例について
	意見交換

講義内容は、公共建築工事を取り巻く最近の動向から、より実務に役立つ内容を盛り込むこととして、ICT導入の背景・目的や、設計・工事における技術導入事例の紹介等、ICT技術の基本的な知識から、ICT・BIM導入にあたってのポイントや今後の課題について学びました。

また、ICT建設機械のデモンストレーションの見学や設計BIMによる模擬プレゼンテーション等、最新の技術を直に体験していただき、聴講生の皆様からは、これまで触れることがなかった内容で、理解が深まり今後の業務に活かしたいと、好評でした。

今後も、参加者皆様の実務に役立つ研修を開催していきたいと考えております。



【外部講師によるICT技術の紹介】



【女川町庁舎の見学】



【ICT建機のデモンストレーション】

インフラ長寿命化の取り組み

～ 山形県における県有施設の長寿命化に関する取組と営繕室の役割 ～

■はじめに

全国的にインフラの長寿命化への取り組みが喫緊の課題となっているところですが、山形県でもハード・ソフト両方の観点から既存のインフラの長寿命化に取り組んでいるところです。

このたびは「営繕とうほく」の寄稿にあたり、山形県における県有施設の長寿命化に関する取り組みとして、「ファシリティマネジメント」と「維持保全における定期点検等」を営繕室の役割と併せて紹介します。

■ファシリティマネジメントについて

1. 山形県の課題

本県が保有する財産は、行政サービスの向上に伴って増加してきた経緯から膨大な量となっており、特に、1970年代以降に整備された多くの施設がこれから更新・大規模改修の時期を迎え、多額の財政需要が見込まれる状況にあります。県有施設においては、建築された年度別に延床面積を見た場合、現在の県庁舎が完成した昭和50年度がピークとなっており、建築後30年を経過した建物が全体の55%に達する等、老朽化への対応が喫緊の課題となっています。

今後、人口減少・少子高齢化等により公共施設等の利用需要の変化が予想されることを踏まえ、県有施設の長寿命化や維持管理の効率化による費用の縮減、県有財産の売却・有効活用による歳入確保、更にこれらを統括運用していく仕組みづくりが求められているところです。

2. ファシリティマネジメントの策定および概要

1の課題解決のため、本県では県有財産を経営的な視点で総合的に管理、活用するファシリティマネジメントの取組を全庁的に推進するために、平成25年5月に「山形県県有財産総合管理推進本部」を設置するとともに、翌平成26年12月には「山形県県有財産総合管理（ファシリティマネジメント）基本方針」を策定しました。

また、基本方針の中で「個別施設計画（個別施設毎の長寿命化計画）」の策定を明記しております。

3. 具体的な取り組み

基本方針に基づき、以下の①～③の取組を行い、行政サービスの維持向上と財政負担軽減の両立を図ります。

① 県有施設の長寿命化と維持管理コストの低減

- ・山形県県有建物長寿命化指針に基づく計画的な保全の推進
- ・日常の点検管理に関する手引きの新たな作成など、施設管理者への技術面でのサポート体制の強化
- ・指定管理者制度やPPP/PFI手法導入の優先的検討等、民間活力の活用による効率的な維持管理の推進

② 県有財産の有効活用

- ・未利用財産や庁舎等の空きスペース、敷地の民間等への貸付や転用の推進
- ・庁舎・公共施設等への企業広告やネーミングライツの導入拡大

③県有財産の総量縮小

- ・不動産関係団体との連携等、多様な手法を活用した積極的な売却の推進
- ・施設アセスメントの実施を踏まえた、計画的な施設の集約化、転用等の推進

4. 「個別施設計画（個別施設毎の長寿命化計画）」の策定

総務省からの要請を受け、本県では、平成 29 年から県有施設の個別施設計画の策定に取り組んでいます。策定単位を学校施設、公共施設、警察施設、職員公舎、その他庁舎等の 5 つに分け、平成 32 年までにすべての県有施設の個別施設計画を策定することとしています。当該計画の中で長寿命化や建替えといった施設毎の方向性を位置付け、長寿命化に位置付けられたものは優先順位を踏まえた具体的な実施計画（5 年間）を策定していきます。

5. 営繕室の役割

個別施設計画の策定については、管財課および施設所管部局が主体となって取り組んでおります。しかし、施設の劣化状況の診断及び改修方法について専門的な知識が必要なことから、営繕室では建築的な観点からの助言を行う形で個別施設計画の策定に協力しております。

《個別施設計画の内容》

- ①対象施設
- ②計画期間
- ③対策の優先順位の考え方
- ④個別施設の状態等
- ⑤対策内容と実施期間
- ⑥対策費用

《個別施設計画の作成手順》

1. 施設状況の点検確認
2. 施設アセスメント（評価結果を基に施設利活用の方向性を提示）
3. 利活用の決定
4. 中長期計画の策定
5. 実施計画(5 年間)の策定
6. 個別施設計画の策定

■ 県有施設の維持保全における定期点検等について

山形県では、平成 14 年から県所有の建築物を“長持ち”させることを目的に「維持保全定期調査」を実施し、建物の維持保全に努めてきました。平成 17 年に建築基準法で「定期点検」が義務付けられたことにより、「定期点検」と「維持保全定期調査」を合わせて、「定期点検等」として位置づけ調査を実施しております。

「定期点検等」の対象は、県有施設のうち、県民の利用度が高い重要施設（建築基準法第 12 条第 2 項及び第 4 項の規定による定期点検対象施設を含む。）を対象施設と定めており、現在 227 施設が対象となっております。また、定期点検等の調査については、専門的な知識や資格が必要なことから、山形県では主に営繕担当職員が調査を行います。

調査後は施設管理者に、調査担当者の所見と併せて結果を報告します。定期点検等の結果は施設管理者において施設の修繕計画の参考として活用しております。

また、調査結果を「保全マネジメントシステム(BIMMS)」に登録することで、システムによる一元管理をしております。

《定期点検等の対象施設と点検周期》

1. 建築基準法第 12 条第 2 項及び第 4 項で定める定期点検対象施設（建築：3 年毎、設備：毎年）
2. 延べ床面積 100 ㎡以上で県民の利用度が高い重要施設（建築及び設備：3 年毎）

■最後に

インフラの長寿命化への取り組みが全国的に課題となっており、国や市町村、民間との間での維持保全・長寿命化に関する情報の共有や連携が重要になっております。今後も山形県は、国や市町村、民間と連携しながら、適切な施設の活用・維持保全に取り組んでまいります。

新庁舎を創った「けんせつ小町たちの座談会」 ～働きやすい職場環境を考える～

【経緯・趣旨】

「山形森林管理署最上支署」新庁舎は、発注者、設計業務受注者、工事受注者、一次下請の木造工事業者、さらに入居官署それぞれの組織に所属する女性職員が中心となって整備が進められた施設です。

各担当者は、家庭と仕事を見事に両立し、女性ならではのきめ細かい工夫により設計や工事を行い、本施設を木のぬくもりを感じる、やさしく暖かい木造庁舎に生まれ変わらせました。

そこで、本施設の落成に合わせ、各人の仕事への思いややりがい、ワークライフバランスを確保しながら女性が活躍するための工夫やご苦労、組織の雰囲気などについて紹介してもらいました。



座談会の様子

【概要】

■日時：平成30年12月12日（水）13：30～14：30

■場所：山形森林管理署最上支署新庁舎（山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川 200-11）

■対談者：高山 明香（建築工事受注者／沼田建設株式会社／現場代理人）
寺崎 洋子（建築工事一次下請業者／株式会社ヤマムラ／主任技術者）
佐藤 千賀子（設計業務受注者／株式会社石川設計／設計副部長）
松浦 由紀子（入居官署／東北森林管理局山形森林管理署最上支署／主任事務管理官）
照井 彩水（入居官署／東北森林管理局山形森林管理署最上支署）
鎌田 良恵（発注者／東北地方整備局営繕部整備課／建築設計審査担当者）
※順不同

■コーディネーター

：中里 明希美（東北地方整備局営繕部整備課）
近藤 純子（東北地方整備局営繕部整備課）

■企画・運営

：国土交通省東北地方整備局営繕部職員（入省1～4年目）

■対談テーマ

：自己紹介（名前、所属、仕事内容、最上支署整備における担当業務説明・コメント等）
自分がいる業界を志したきっかけ、業界に入る前と後のギャップ
仕事でのやりがい、良かったこと、嬉しかったこと
仕事での悔しかったこと、苦労したこと
最上支署の建設に関してうまくいった点、反省点、工夫等
現在の職場環境について
女性が働くために「こうなってほしいな」と思うこと

【座談会の内容】

はじめに対談者各々が自己紹介を行い、その後、事前アンケートをもとに座談会がはじまりました。まず、各業界を志したきっかけについて高山さんが「高校生の頃に見ていたドラマに影響され建築家になりたいと思い、建設系の大学に進学しました。そのうち現場の施工管理という仕事が一番リアルに建築に携われるのではないかと考え、現在の会社に就職しました。」と建設業界を志した自らのきっかけを語りました。

工事施工者の方々が仕事をする上でのやりがいや良かったこと、または苦勞を話していく中、佐藤さんは「最近、その施設で実際に働く女性の方と打ち合わせを行って、設計するケースが増えてきました。女性ならではの苦勞などもあるので、完成後に使いやすいと喜ばれた時にはとてもうれしく思います。」と女性目線でのやりがいを語りました。また、松浦さんは新庁舎について「木がふんだんに使われていて、バリアフリーなどについても気遣いがみられるので、ここで働くのが本当に楽しみです。」と新庁舎への期待を話してくれました。

「施工現場等でのトイレや更衣室など女性として気になる部分はありますか。」という問いに対しては、寺崎さんが「男女別であった方がいいのはトイレぐらいで、あとは特に気になりません。逆に休憩中にも男性の職人さん達と一緒にいた方がコミュニケーションをとれるため、あえてそこに混ざります。」と話しました。

座談会の終盤ではこれからの建設業界への要望や適正な工期の確保、誰もが働きやすい環境を創ることが大事という活発な意見が飛び交いました。鎌田さんからは「仕事と育児の両立ができるかという不安を抱えながらも周囲のサポートに助けられています。」と話す一方で「性別は関係ないと思われたいと考えていて、女性が活躍していく社会ということの特に言われることがない社会になっていけば良いと思います。」と心の内を語りました。最後に聴講者から「働く女性側の意見として、男性側に何かできることはありますか。」という質問に対し、対談者からは「家族を含む周囲の協力や声かけが大事」と各々の言葉で語り、座談会は終了しました。



現場代理人(高山さん) 主任技術者(寺崎さん)



入居官署(松浦さん 照井さん)



発注者(鎌田さん) 設計者(佐藤さん)



コーディネーター(中里さん 近藤さん)

平成 30 年度 保全実態調査結果（東北版）について

各省各庁の施設保全をご担当の皆様には、平成 30 年度の保全実態調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。保全実態調査は、国家機関の建築物等の保全の実態と問題点を把握し適正な保全を実施することを目的とした調査で、官公庁施設の建設等に関する法律に基づき、すべての国家機関の建築物等に対して実施しています。このたびは、東北地方整備局管内の保全実態調査の結果の概要及び特に重要な点について報告します。

今年度の調査では管内の 1,263 施設から回答いただきました。施設の内訳は、庁舎（合同庁舎等及び一般事務庁舎）が約 54%、その他（教育研修施設、矯正施設、自衛隊等）が約 12%、宿舍が約 34%となっています。（表-1）

施設数は、廃止・取壊し等により、昨年度から 52 施設減になっています。

各施設の主要な建築物を経年別に分類すると、庁舎の 55%、その他の 44%、宿舍の 43%が建築後 30 年を経過しています。（図-1）

表-1 調査施設数(用途別)

庁舎	683 施設 (54%)
その他	146 施設 (12%)
宿舍	434 施設 (34%)
計	1,263 施設 (100%)

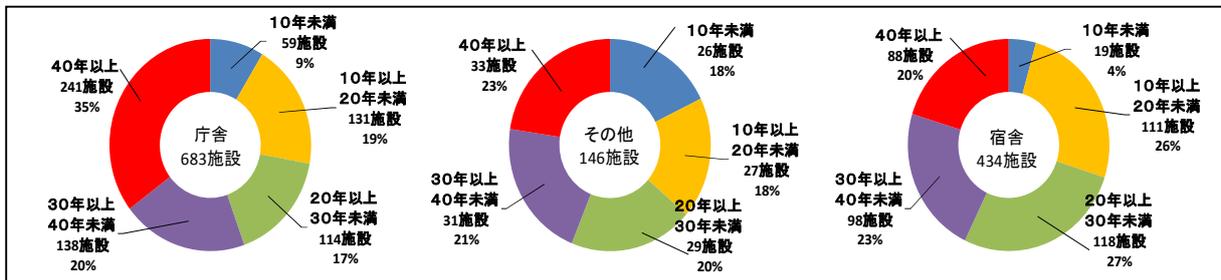


図-1 経年別施設数

建築後 30 年前後には大規模修繕や設備機器の更新等が必要となり、施設の運用・管理に要する費用が増大するため、中長期保全計画に基づいた計画的な対応が必要となります。

調査項目は保全実態調査要領から「①保全の体制、計画及び記録等」、「②点検等の実施状況」、「③施設の状況」の 3 項目です。このうち東北地方整備局では「①保全の体制、計画及び記録等」について、特に重点的な保全指導に取り組んできました。

「①保全の体制、計画及び記録等」は以下の 5 つの項目で評価します。

- ・「施設保全責任者の有無」
- ・「年度保全計画書の作成」
- ・「中長期保全計画書の作成」
- ・「点検及び確認結果の記録」
- ・「修繕履歴の作成」

次に各項目の結果について説明します。

「巡回建築パネル展」及び「施設見学会」

～ 公共建築月間イベント開催 ～

「公共建築の日」及び「公共建築月間」イベントとして、広く一般の方々にも関心を持っていただきながら、より一層生活に密着したより良い公共建築を目指すという考えのもと、11月に「巡回建築パネル展」及び「施設見学会」を開催しました。

〔主催：「公共建築の日」及び「公共建築月間」関連イベント実行委員会、共催：「公共建築の日」及び「公共建築月間」東北地方協力支援会議、後援：東松島市教育委員会〕

【 巡回建築パネル展 】

今年度のテーマを「公共建築関連事業の紹介」と題し、東北6県・仙台市および東北地方整備局の取組事例と実行委員会を構成する各機関の事業等をまとめたパネル展を開催しました。

10月29日から11月30日のうち、それぞれ1週間程度を展示期間として、各県・市の施設のロビーや展示コーナーなどを会場として展示を行い、多くの方々にご覧頂く機会となりました。

巡回建築パネル展 開催場所・期間	
青森県庁 北棟1階ロビー	11月12日(月)～11月16日(金)
岩手県庁 1階県民室BF 展示コーナー	11月12日(月)～11月16日(金)
宮城県庁 2階ロビー	11月27日(火)～11月30日(金)
秋田県庁 正面前廊下	10月29日(月)～11月 2日(金)
山形県村山総合支庁 1階ロビー	11月19日(月)～11月22日(木)
福島県庁 3階渡り廊下	10月29日(月)～11月 2日(金)
仙台市役所 本庁舎1階ロビー	11月26日(月)～11月30日(金)
仙台市青葉通り地下道ギャラリー	11月 1日(木)～11月15日(木)



〔巡回建築パネル展の開催状況〕

【 施設見学会 】

11月13日に、「木材を活用した公共建築」と題し、木造で建設された「オーエンス泉岳自然ふれあい館（仙台市施設）」と「東松島市立宮野森小学校（東松島市施設）」を訪れ、施設整備にかかる事業の紹介と施設見学を行いました。当日は、公共建築に興味を持つ学生など30名の参加があり、各施設の見学を通じて公共建築物における木材の利活用の取り組みやその効果に触れていただきました。

参加者からは、「木造建築の美しさや心地良さを感じた」「木材の持つ良さと日本の建築技術の高さを感じる施設だ」「木材の活用方法などから関係者の熱意が伝わってくる」「どの施設も運営する側が施設を大切にしていると感じた」等のご意見をいただき、大変好評でした。



〔東松島市立宮野森小学校の外観〕



〔オーエンス泉岳自然ふれあい館の見学風景〕



〔東松島市立宮野森小学校の見学風景〕



営繕とうほく編集室

〒980-8602

仙台市青葉区本町3丁目3-1 仙台合同庁舎B棟
東北地方整備局 営繕部 計画課内
TEL 022-225-2171(代表)
E-mail: thr-82keikaku@mlit.go.jp

ホームページアドレス

■東北地方整備局 <http://www.thr.mlit.go.jp/>

■盛岡営繕事務所 <http://www.thr.mlit.go.jp/moriei>

「営繕とうほく」は東北地方整備局ホームページでもご覧になれます